

支援プログラム



モンキー
ポッド^{りん}輪

営業時間 9:00~18:00

送迎実施の有無 なし

法人(事業所)理念

子ども達が、
ゆったりくつろいだ気持ちですごせる家庭のような環境の中で、
よりよい療育を目指しています。

支援方針

集団で活動する経験を通して、

集団の中で過ごせる・集団に合わせる力を養っていきます。

また、お友達との関わりの中で、自分の気持ちを知り相手の気持ちを知って、

コミュニケーションができるよう促していきます。

そして、その子の目線に支援員がしっかりと合わせていき、

得意なことから「できた！」と達成感や自信につながるようにし、

自己肯定感を高めていくことで、難しいと感じることで

自分から「やってみよう!」と思える心を育てます。

保護者様には、療育でのお子様の様子を日々お伝えさせていただきながら、

お子様に関して悩んでいる保護者様のご相談もいつでもお受けいたします。

本人支援／健康・生活

手洗い、衣類・靴下の着脱、ジッパー・ボタン、鉛筆や箸を使った手先の操作、トイレなど、日常生活動作の自立を目指しサポートします。

また、椅子に座って取り組むことを意識し、日常生活に必要な姿勢を身に付けていきます。

見立て遊びやごっこ遊びに取り組み、日常生活の再現遊びをすることでイメージする力を養い、理解を深めていきます。

本人支援／運動・感覚

しっかり身体を動かして感覚を取り入れ、
“動きたい”という感覚を満たしていくことで
ボディイメージやボディコントロールを養っていきます。

身体の切り替えができることで、
気持ちの切り替えができるようになっていくため、
遊びの中で身体の動かし方を経験していきます。

運動遊びでお友達と合わせることで、社会性が身につけていきます。

本人支援／認知・行動

「始まりと終わり」「原因と結果」「目的と手段」が
分かるよう環境や課題を設定していきます。

目で見て分かり見通しを持てることで
安心して取り組める環境を作りつつ、
自分以外の外の世界があることが分かり、
少しずつ合わせられるように支援していきます。

本人支援／言語・コミュニケーション

楽しめる遊びの中で声を出す機会を作り、

気持ちを受け止めてもらう経験を積んでいくことで、

声や言葉で伝えたい気持ちを育てていきます。

「〇〇が嫌でしたくなかったんだね」「〇〇だから違う遊びがしたいんだね」など、

理由を含み代弁してもらうことで、

自分の気持ちを理解して表現できる言葉を知っていきます。

また、絵本など目に見える形で、登場人物の気持ちを職員に教えてもらうことで

「嬉しい」「悲しい」などの気持ちを知り、

自分以外の人も気持ちを想像できるよう、知る機会を増やしていきます。

本人支援／人間関係・社会性

自分のしたいことややりたいことは伝えてもらい、
職員が汲み取って代弁していくことで、自分のつもりを知っていきます。

そして、状況やお友達、職員の気持ちを伝えていくことで、
相手のつもりを知っていく機会も作っていきます。

お互いのつもりが分かった上で、
優しい言葉を使ったやり取りを
職員に教えてもらいやり取りをしてみることができ、
順番や譲る・譲られるといったことが
職員のサポートでできるよう促していきます。

家族支援

療育に来られる日は毎回フィードバックの時間を設け、
その日の様子を写真を見ながらお伝えしています。
そして、利用児ができるようになったことや困りごとを
保護者様と日常的に共有し、
療育内やご家庭での必要な対応について
共通認識を持てるよう共有しています。

移行支援

進級進学に向けて、
利用児本人の好きなことから課題に取り組んでいけるよう
促していきます。

そして、やりたくないことや興味のないことでも
出された課題に応じていけるよう、
少しずつ取り組んでいけるよう設定していきます。

地域支援・地域連携

利用児が所属する幼稚園・保育園と必要に応じて連携し、
お互いの環境での利用児の様子を共有し相互にアドバイスをしながら、
利用児がよりよく過ごせるようサポートをしていきます。

職員の質の向上

療育後の振り返り

療育後に毎日振り返りを行い、子どもの見立てをすり合わせて

職員の関わり方の振り返りを行っています。

療育内容についても、見直しや改善、よりよい設定がないかなど、

適宜話し合いをしています。

研修

療育に必要な知識の向上やケーススタディなどの専門的な研修への参加

療育に必要な知識の向上を目指した事業所内研修を実施

主な行事等

季節の製作、お誕生日会、
夏のシャボン玉遊び、クリスマス会、
避難訓練
保護者向けイベント(未定)